

## みずほCustomer Desk Report 2017/02/24号(As of 2017/02/23)

### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.38
TKY 9:00AM	113.41	1.0551	119.65	1.0109	GBP/USD	1.2449
SYD-NY High	113.46	1.0596	119.71	1.0115	AUD/USD	0.7741
SYD-NY Low	112.55	1.0538	119.05	1.0054		0.7665
NY 5:00 PM	112.60	1.0582	119.15	1.0060		0.7715
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.77/11.17		△25RR	0.225	Yen Call Over	
NY DOW	20,810.32	34.72	債券市場	日本2年債	-0.2570	-
NASDAQ	5,835.51	▲25.12		日本10年債	0.0840	0.1bp
S&P	2,363.81	0.99		米国2年債	1.1825	▲3.4bp
日経平均	19,371.46	▲8.41		米国5年債	1.8586	▲4.6bp
TOPIX	1,556.25	▲0.84		米国10年債	2.3720	▲4.1bp
シカゴ日経先物	19,295	▲55.00		独10年債	0.2330	▲4.6bp
ロンドンFT	7,271.37	▲30.88		英10年債	1.1540	▲4.9bp
DAX	11,947.83	▲50.76		豪10年債	2.7850	▲4.9bp
ハンセン指数	24,114.86	▲87.10	為替市況	USD/CNH	6.8494	▲0.0079
上海総合	3,251.38	▲9.84		ドルインデックス	100.97	▲0.25
USDJPY 3M Vol	11.75	▲0.07%	商品市況	CRB指数	191.634	0.41
USDJPY 6M Vol	11.20	▲0.09%		NY金	1,251.40	18.10
EURJPY 3M Vol	14.61	▲0.13%		WTI	54.45	0.86
EURJPY 6M Vol	13.10	▲0.02%		Dubai Spot	54.32	0.24

### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月23日	8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	9:30	豪 民間設備投資	4Q -2.1%	-0.5%
	16:00	独 GDP・確報値(前期比/前年比)	4Q 0.4%/1.7%	0.4%/1.7%
	16:00	独 GfK消費者信頼感	3月 10.0	10.1
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	244K
	22:35	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁講演	-	-
2月24日	3:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-

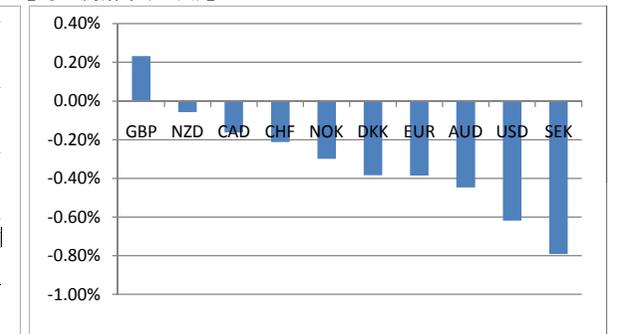
### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月24日	7:30	豪 ロウRBA総裁議会証言	-	-
2月25日	0:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	2月 96.0	95.7
	0:00	米 新築住宅販売件数	1月 571K	536K

### 【ドル円相場】



### 【対円騰落率(日次)】



**東京**  
東京時間のドル円は113.41レベルでオープン。日経平均株価が寄り付き後に下落したことを受けてドル円も軟調推移となり、一時113.10近辺まで値を下げる展開。その後、木内日銀審議委員より「実際に国債買入ペースは落ちており、正常化方向に進んでいる」などの発言が報じられたものの、マーケットへの影響は限定的。午後に入り、113円台前半で方向感に乏しい推移が続き、113.26レベルで海外市場に渡った。ユーロは1.0551レベルで東京時間オープン。前日海外時間の買戻しの流れを引き継ぎ一時1.0570近辺まで上昇したものの、前日高値(1.0574)が意識されて押し戻される展開となる。1.05台半ばまで反落し1.0557レベルで海外市場に渡った。豪ドルは0.7698レベルでオープンした後、発表された豪10-12月期民間設備投資が市場予想を下回ったことを受けて、一時0.7665まで下落。その後、買戻しの流れが進み再度0.77近辺まで回復するも、同水準では上値を抑えられる格好となり、0.7692レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

**ロンドン**  
ロンドン市場のドル円は、113.26でオープンし、米金利の低下を材料に113.07まで軟調に推移。ムニューテン米財務長官が税制改革に関するインビューに出演したことで、期待感からオープンレベルまで反発するも、具体的政策については殆ど触れられなかったため下落に転じ、結局112.79レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2433レベルでオープン。2017年の英インフレ率予想(短期予想:2.6%、5-10年予想:3.2%)が3年ぶりの高水準となったことや北海プラットフォーム原油先物的好調推移等が意識され1.2498まで上昇し、同水準でNYに渡った。ユーロドルは1.0557レベルでオープン。ワトマン連銀総裁発言「CPI見直しは上方修正されるべき」が報じられると、ECBのテーハリング観測が強まり1.0569まで上昇し、1.0568レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)

**ニューヨーク**  
本日NY時間早期に実施されたムニューテン米財務長官のCNBCとのインビューが、先日の公聴会や前日のWSJ紙のインビューと似た内容に終始し目新しさに欠ける内容であったことから、ドル円は112.75まで下落して112.79レベルでNYオープン。前日に公表されたFOMC議事要旨が3月利上げを具体的に示唆する内容とまでは至らなかったことから米金利は低下。米長短期金利が2週間ぶりの低水準まで低下する動きを受けてドル円も軟調推移し、先週つた直近安値112.62を下抜けるとストップを巻き込みながら安値112.55まで下落した。テクニカル水準でもあるこのレベルでは買いが入り反発したものの、米金利が低下基調の中でドル円の上値は重く、その後は方向感なく推移して112.60レベルでクロス。またカプラン・ダラス連銀総裁(投票権あり)が「FEDは3月利上げの選択肢を残すべきだ」等の発言をしたが、相場への影響は限定的となった。一方、ユーロドルは1.0568レベルでオープン。米金利低下を背景とするドル売りにサポートされ、一時高値となる1.0596まで上昇。その後は方向感なくレンジ推移し1.0582レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・西谷

### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.40	1.0530-1.0630	118.50-120.50

### 【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟化した。昨日ムニューテン米財務長官は、某テレビ番組でのインタビューにて「8月休会前の税制改革法案の可決を望む」との考えを示したものの、具体的な内容までは踏み込まなかった。9日のトランプ米大統領の「今後2~3週間以内に驚異的な減税案を公表する」との発言から2週間が経過する中、詳細について未だ不透明感が残り期待感がやや剥落した印象。113円台前半で推移していたドル/円は一時112.55まで下落し、112円台後半で本日を迎えた。本日のドル/円は上値の重い展開を予想する。来週28日に予定しているトランプ氏の上下両院合同議会演説に市場の注目が集まる中、本日は特段主だったイベントもなく、一定のレンジ内での推移を基本線と考える。米長期金利が伸び悩む状況下、週末を前にした様子見ムードから基本的には上値の重い相場展開を予想する。